

自動車のバッテリーから出火した事例・2

火災概要

走行中の車両（ワンボックス車）の後部座席床面から出火し、バッテリーとハーネス及びフロアマットの一部を焼損（しょうそん：焼けてこわれる）した車両火災です。

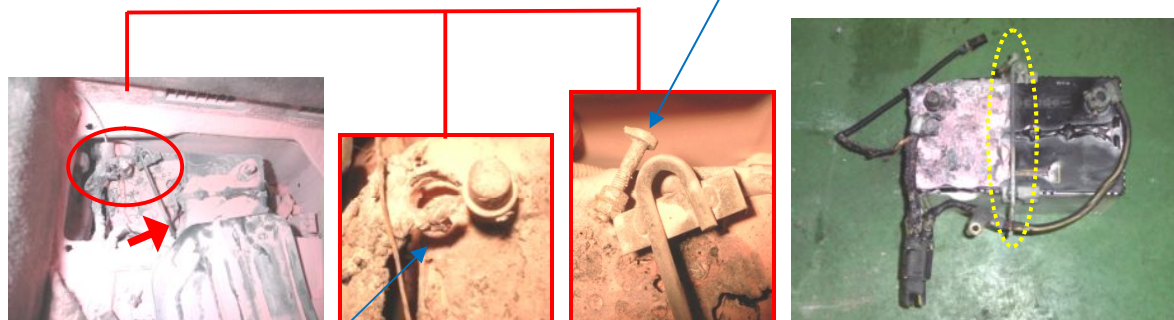
早期発見の為、類焼等は無く、負傷者も発生していません。



原因概要

バッテリー固定金具を止めていた片方のボルト・ナットが何らかの原因で脱落し、バッテリー収納部の底面で残渣（ざんさ：燃えかす等）に埋もれた状態で発見しました。可動状態となったバッテリー固定金具がバッテリーの（+）ターミナル側へ移動して、接続端子と接触して短絡（ショート）し、出火したものと推定しました。

接続端子の先端が溶け、バッテリー固定金具にボルト・ナットが引っ付いている



バッテリー固定金具
現場到着時の状況

接続端子の拡大状況
（+）ターミナル

バッテリー固定
金具の拡大状況

バッテリー固定金具の正常な位置

接続端子先端部分（鉛製）が溶けて無くなっている

類似火災の防止対策

バッテリーはスターター（エンジンを始動する装置）や、電装系のバックアップ用の電源へ電気を供給しています。**エンジンが停止していても常に電流は流れていて、たくさんの電気が蓄えられています。**そんな**巨大な電池**であるバッテリーの点検を怠ったり、取扱い方法を誤ると、火災の原因になり大変危険です。

知識がなく自信もないまま、部品の取付け等を行わず、専門家に依頼するようにしましょう。

使用者の義務である日常点検を行う際には、バッテリーの取付け状況もしっかり点検しましょう。

「いつも大丈夫だから・・・」 → 違います！

「いつも＝よく使うもの」だからこそ、しっかりと点検整備しましょう！

・・・**火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。**・・・